

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2020年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
2. 年齢の起算は、2020年4月2日現在とする。出場できる種別は、当該年齢又は当該年齢の下の種別に限る。
3. 競技場への入場について
 - ・入場は出場種目開始時刻の2時間前からとし、1F正面入口のみとする。
 - ・退場はマラソングートと南西門を使用すること。再入場はマラソングートからのみとし、入場は当日配布する入場許可証を競技役員に提示すること
 - ・無観客競技会として開催するので、正面2Fメインスタンド入口は開放しない。
4. 更衣について
 - ・競技者の更衣用として、更衣室を男女別に開放する。
 - ・更衣室の使用は1度に6～10名で更衣のみとし、マスク着用のうえ会話はしないこと。使用時間は5分以内とする。
 - ・シャワー室の使用は禁止する。
5. 練習について
 - ・トラックの練習は9時00分までとする。
 - ・バックスタンド後方(東側)の練習走路を使用すること。
 - ・投てきの練習は競技役員の指示で実施すること。(他の場所での練習は厳禁する)
6. 招集について
 - ① 1次招集 招集場所：室内練習場内
 - ・競技開始時刻の2時間前～1時間前までに「体調管理チェックシート&一次コール用紙」を提出し、アスリートビブス・スパイク(シューズ)の確認を受けることで一次招集完了とする。
 - ② 2次招集 招集場所：現地
 - 【トラック種目】 20分前開始 10分前完了
 - 【フィールド種目】 40分前開始 30分前完了
 - ・1次、2次招集に遅れた競技者は、欠場するものとして処理する。
7. リレーオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。
8. 競技について
 - ・競技者は、スタートリストに記載されたアスリートビブスで出場すること。
 - ・腰ナンバーカードは1次招集場所で各自が受け取ること。ただし、5000m、10000m種目は、別ナンバーカードを使用するため、スタート地点で受け取ること。
 - ・スパイクのピンは、本数は11本以内とし、9mm以下の全天候舗装用を使用すること。(走高跳・やり投は12mm以内とする)
 - ・トラック競技については、WA(世界陸連)改訂規則に伴うシューズ(いわゆる厚底シューズ)について使用する場合は、1次招集時にスパイクのチェックと同様にシューズのチェックを行う。
 - ・トラック種目は、すべてタイムレースとする。
 - ・走高跳のバーの上げ方については、当日、跳躍審判長が決定する。
 - ・三段跳の踏切板位置については、砂場から11mとする。
 - ・競技エリア内に通信機器(携帯電話等)やビデオ撮影機器(タブレット等)を持ち込んではいない。
 - ・投てき競技の滑り止めは、主催者で準備しないので個人で持参すること。
 - ・A10000mは48分00秒、A5000m、B5000m、C5000mは23分00秒、H5000mは26分00秒を経過後は、次の周回に入

れない。

- ・フィールドの芝生内は、全面立ち入り禁止とする。

9. 表彰について

- ・各種別・種目の優勝者を「シニア選手権者」とし、賞状・賞品を授与する。ただし、種別A（29歳以下）については、ジュニア選手（20歳未満の者）を除いた上位者を「シニア選手権者」とし、賞状・賞品を授与する

10. クラブ対抗について

(1) 男女別の対抗とする。

(2) 男女別総合優勝クラブには、それぞれ賞状・優勝杯（持ち回り）、2位・3位には賞状を授与する。

- ・対抗得点は、各種目の6位まで得点を与え、6位までに同一クラブ2名以上ある場合は、上位2名の獲得得点とする。（下表参考のこと）
- ・得点の配点は、1位7点、2位5点、・・・6位1点とする。

(参考)

順位	クラブ名	得点	得点算入
1	A クラブ	7	7点
2	B クラブ	5	5点
3	A クラブ	4	4点
4	C クラブ	3	3点
5	大阪陸協（個人）	2	対抗の対象外
6	A クラブ	1	3人目により対象外

Aクラブ 11点

Bクラブ 5点

Cクラブ 3点

となる

(3) 優勝杯返還式および競技終了後の表彰式は行わない。

11. 競技場の使用について

- ・競技者・付添等の関係者は指定された出入口から入退場すること。
- ・声を出しての応援は禁止する。
- ・すべての競技者は、競技終了後に手洗い・消毒を行ってから退場すること。
- ・横断幕、のぼりの設置は禁止する。
- ・競技場内外での場所取りは禁止する。
- ・ゴミ箱は設置していないため、ゴミ等は必ず持ち帰ること。

12. その他

- ・プログラム記載もれや訂正は大会本部まで申し出ること。
- ・記録およびクラブ対抗結果は、電光掲示板およびWEBページ(大阪陸協ホームページ)で確認すること。
(記録ボードは設置しない)
- ・盗難が多発しているため貴重品は各自で保管するなど持ち物の管理には注意すること。

13. 免責事項について

- ・競技中に生じた事故について、応急処置の他一切の責任は負わないので、各自で傷害保険等に加入しておくこと。
- ・競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。